

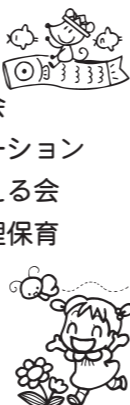
5月の園だより

あおぞら保育園がスタートして1か月。子どもたちの笑顔や、やさしい言葉に助けられ、やんちゃな行動に驚かされながら、たのしく毎日を過ごしてまいりました。

クラスが進級し2階に上がっていく はな組さん 最近自覚がでてきたのか後ろすがたがたくましくなっています。ことり組さんは、自信に満ちた顔立ちで“なんでもできる”とやる気満々です。うさぎ組さんは、どっしり構えてわが道を（じっくり遊んでいます）。ひよこ組さんは、すっかり担任と仲良くなって一緒に楽しそうにあそんでいます。つき組さんは、年長としての自覚もあって「小さいクラスの子どもたちと一緒に散歩に連れて行ってくれたり、困っている子や先生を助けてくれたり」。給食もおかわりをしてもりもりと食べ元気いっぱいです。こんな子どもたちが様々な体験を通して笑顔で楽しく生活できるよう五感に働きかける保育を展開してまいりたいと思います。

5月の予定

- 2(月) 子どもの日会
- 11(土) 親子レクリエーション
- 15(水) 一年生を迎える会
- 16(木) つき組 調理保育
- 17(金) 避難訓練
- 24(金) 誕生会
- 29(水) 幼児体育



6月の予定

- 7(木) 調理保育(はな組)
- 17(月) 虫歯予防集会
- 18(火) 幼児体育
- 18(火) 職員研修
- 20(木) 春の健康診断(全園児)
- 20(木) 職員会議
- 25(火) 避難訓練
- 28(金) 誕生会

6月保育参加・懇談会 日程

- 4(火) つき組 保育参加・懇談会
- 5(水) はな組 保育参加・懇談会
- 6(木) ひよこ組 懇談会
- 11(火) うさぎ組 懇談会
- 13(木) ことり組 保育参加



クラスより



ひよこ組

「朝の別れは、さみしさをこらえきれず…」そんな姿がまだ見られる子どもたちですが、日中は笑顔を見せてくれるようになり気持ちをひらいてくれた！と感じられる日々が増えてきてきました。おやつ準備に椅子を出し始めると、気付いて椅子の周りに集まり「お外にいこう～」と話していると嬉しそうにくつを取りに行きます。なんでもよ〜く「聞いて」「見て」いるひよこ組さん。まねっこもじょうずで、大好きな絵本「だるまさんが」のなかのワンシーン『ぶっしゃー』と一緒にやってくれます。そのしぐさが何ともかわいらしいです。そんな子どもたちと毎日楽しく笑って過ごしていきたいと思っています。



うさぎ組

1か月が過ぎ、新しいお友達の名前もちたらホラ言えるようになってきました。大分、落ち着いて生活できるようになったのでステップアップを少しずつ増やしています。[ご紹介]給食のとき今まで待てなかったので「いただきます」をして、配膳した子から食べていたのですが、4月中旬頃からは、手を膝に置いてみんなそろってから挨拶をして食べています。うっかり食べてしまう子もいますが、声をかけると「はっ」とするその表情が、微笑ましいです。5月は、年長組さんに散歩に連れて行ってもらう活動を広げ、さらに元気一杯過ごす予定です。

ことり組

新年度がスタートして1か月がたちました。涙・涙…の4月かと思いきや、新入園児も進級児もほぼ泣くこともなく、お家の方と別れ、好きな遊びを見つけ遊んでいます。給食も食べられない子がいるかな…保育士も忙しくて食べられずやせられるかしら…!?なんて思っていました。そんなことは心配いらず。「これおいしいね」「うまい!」「おかわり!!」という言葉がたくさん聞くことのできる給食タイムです。私たちも美味しく「これ一緒にたべよう!」と子どもたちに負けずして、もりもり食べています。先日初めてことり組さんだけで、羽村駅西口へお散歩に行ってきました。駅のエレベーターには、みんな大喜び!! とっても楽しく、驚くほど上手に歩くことができました。一番気持ちよく過ごせる季節なので、たくさん外で遊び、美味しく食事を食べ、気持ちよく体を休め、心も体も大満足の5月にしたいと思っています。

はな組

新しい生活にも慣れ、毎日笑顔で登園してきてくれることを嬉しく思います。はな組は、今「虫さがし」「桜の実さがし」がブーム。園庭であおむしを見つけたりありをつかまえたり、砂場でそのままごとに桜の木になる実をつかまいたり春の自然を楽しんでいます。屋内でも室内でも友達数名のグループができ、関わってあそぶ姿が増えてきました。時には仲立ちしながら自発的なやりとりを見守って行こうと思います。



つき組

つき組として、あつというまに1か月がたちました。保育園の生活にもすっかり慣れて毎日元気いっぱい過ごしています。お当番活動の一環として給食の配膳のお手伝いはじめました。割烹着とマスクをつけてやる気満々。子どもたちの楽しみの一つとなりました。年長児としての自覚と意欲的な姿をビデオで撮影しています。懇談会での上映を楽しみにしてください。

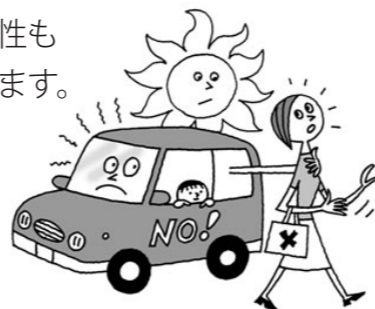
先日初めて行った体育指導では、大興奮の子どもたち。とても楽しく参加することができました。どんなことにも意欲的で積極的に取り組み、自分たちの力に吸収していきけるつきぐみさんです。今月も5月ならではの季節のなか戸外での活動を多く取り入れていきます。また調理保育もあり、様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

車内などへの幼児放置、こんなに危険…45度の車内、13分で熱中症

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。

名古屋工業大の平田晃正准教授、金沢医科大学の佐々木洋主任教授らのグループのシミュレーション実験によると、屋外の気温が

20℃台後半でも、車内など密閉された空間では45℃に、気温が30℃を超えると50℃に上がることもあるそうです。さらに、自動車内など太陽光が差す気温45℃の環境に3歳児を放置した場合、わずか13分で熱中症(脱水症状)になる可能性もあると警告しています。



熱中症になるまでの時間	温度	3歳児	大人
	45℃	13分	1時間以上
	40℃	17分	1時間以上

3歳児は発汗400g
大人は2kgで発症

知ってるようで知らない?!

鯉のぼりの由来



もともと日本では、将軍に男の子が生まれると旗指物(家紋のついた旗)や幟(のぼり)を立てて祝う風習がありました。やがてこれが武家に広がり、男の子が生まれた印として幟を立てるようになります。

その後、江戸庶民の間で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉を幟にするアイデアが生まれ、武家の幟に対して、町人の中で鯉幟(こいのぼり)が揚げられるようになりました。当時は乳幼児の死亡率が高かったため、健やかな成長を祈る気持ちの表れでもあったのです。

江戸時代は和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代に破れない綿の鯉のぼりとなり、昭和30年代に入ってから合成繊維の鯉のぼりが登場し、広く親しまれるようになりました。

近年はベランダでも揚げられるタイプもあり、インテリア用の鯉のぼりも人気があります。また、鯉のぼりに五色の吹き流しには魔除けの意味が込められています。

